

イビモル 薄塗補修

ポルトランドセメントと厳選した硬質骨材と軽量骨材を基材とした、軽量薄塗りタイプのプレミックスモルタルとして、優れた性能を発揮します。

特 長

- ☆内外部を問わず、広範囲な下地材としてご使用頂けます。
- ☆壁面への塗厚み1mm～2mmの全面補修に最適です。
- ☆最適な骨材配合であり、イビフレックスの混入によるポリマーセメントモルタルとして、耐久性に優れ、長期にわたり高い接着力を保ちます。
- ☆工場で製造管理されたプレミックスモルタルですので、安定した品質が確保されており、現場での混練り作業も容易なため、作業効率向上に貢献できます。

標 準 仕 様

荷姿	適応部位	適応下地	適応仕上	標準仕様	塗厚	標準塗面積
25kg/袋	内壁・外壁 内床	コンクリート ブロック ALCパネル 貼り物下地	仕上塗材 内装床仕上材 ※巾木の刷毛引き仕上げ	清水 5ℓ + イビフレックス 2ℓ	1～5mm	約9.0㎡ (2mm厚)

- 床面で使用する場合、露出仕上げは避けて下さい。
- 上記標準仕様以外での施工による不具合につきましては、弊社では責任を負いかねますのでご注意下さい。

性 能

試験項目	JIS A 6916 : 2014 品質基準		試験結果
	CM-1		
軟度変化 (%)	0±20 以下		3.2
耐ひび割れ性	ひび割れがないこと		ひび割れなし
耐衝撃性	ひび割れ及びはがれがないこと		ひび割れ・はがれなし
曲げ強さ (N/mm ²)	3.0 以上		6.6
圧縮強さ (N/mm ²)	5.0 以上		19.8
付着強さ (N/mm ²)	標準養生	0.7 以上	1.6
	低温養生	0.5 以上	1.5
吸水量 (g)	2.0 以下		1.2
透水量 (ml/h)	1.0 以下		0.6
長さ変化 (%)	0.15以下		0.12
仕上材が複層仕上塗材の場合の 耐久性 (N/mm ²)	外観	割れ・膨れ及びはがれがないこと	割れ・膨れ・はがれなし
	付着力	0.7 以上	1.4
仕上材がセラミックタイルの場合の 耐久性 (N/mm ²)	付着力	—	1.5

※上記試験結果は J I S 規格に準じた試験方法による測定値であり、保証値ではありません。

① 下地の点検・清掃

- ① 下地を健全な状態にして下さい。
脆弱層、レイトンス、油分、剥離剤、汚れ等、モルタルの付着に阻害するものは除去して下さい。

② 下地の処理

- ① 清掃後、イビフレックスの3倍希釈液を刷毛等で均一に塗布し、乾燥させて下さい。
※床面は4倍希釈液を塗布
- 【注】ALCパネル面
ジョイント部は前日までにイビフレックス5倍希釈液を刷毛で2回塗布し、ポリマーセメントモルタルで塗りこんで乾燥させて下さい。

③ 混練り

- ① イビモル薄塗補修(25kg/1袋) に対して清水 5 ℓ とイビフレックス2 ℓ を混入し、ハンドミキサー等で十分に攪拌して下さい。
※練り足し、水を加えての練り戻しは避けて下さい。

④ 塗り付け

- ① コテ圧を十分にかけてしごき塗りを行い、追っかけにて所定の塗り厚に塗りつけて下さい。
- ② 仕上げの種類によって、金ごて押え、木ごて押え、刷毛引き等をして下さい。
- ③ 全面塗りの場合は、1回の塗り厚は2mmまでとして下さい。それ以上の塗り厚の場合は、2回以上に分けて1日以上養生期間をおいて下さい。
※塗り厚が薄い場合でも、しごき塗りをして下さい。
浮きやエアの防止・抑制にもなります。接着力の確保の為にも必ずして下さい。

⑤ 養生

- ① 通風や直射日光を避け、必要に応じてシートを掛け等の養生をして下さい。
- ② 乾燥の激しい場合には、塗り付け翌日に散水養生をして下さい。
- ③ 次工程までの工程間隔は、夏季7日以上、冬季14日以上を基準として下さい。



使用上の注意

1. 気温が3℃以下の時には使用しないで下さい。
(気象条件(気温・湿度・日照・風速)に留意して下さい。)
2. 混練りに使用する水は、水道水等の清水を使用して下さい。
3. モルタルは加水後1時間以内に使い切して下さい。
4. 粉袋の保管は室内の湿気の少ない場所に保管して下さい。
5. 開封後は使い切るか、残りは空気・湿気を遮断して下さい。
6. 指定材料以外の材料の混入は避けて下さい。
7. 使用後の器具は速やかに水で洗浄して下さい。
8. 製品は製造年月日を確認し、6ヶ月以内に使用して下さい。

記載内容は資料・情報・データに基づいて作成したものであり、実際の現場において結果を保証するものではありません。また、使用に際して適切な使用方法と安全対策に注意の上、お取り扱い下さい。
内容は、断り無く変更する場合がありますので、ご了承下さい。

2016.1